

整理番号 2021M-052  
補助事業名 2021年度 2025年日本国際博覧会への支援 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

- ①大阪・関西万博のコンセプトである“People’s Living Lab=未来社会の実験場”の具体的な取組みとして本事業を展開した。大阪・関西万博の開催まで約3年前を機に、大阪・関西万博や2025年以降の世界（AFTER2025）が目指すべき方向性を考えるきっかけを投げかけることを目的とした。
- ②本万博への全国の自治体の参加促進、機運醸成並びに会場の四方を海に囲まれた初の国際博覧会「海の万博」に対する関心をより高めることを目的とした。
- ③SDGsや社会課題に今後長く向き合うこととなる子どもたちに、万博を通じてSDGsに触れ学ぶ場を提供し、国際的な広い視野で思考する人材の育成に寄与するとともに、万博をテーマにしたイベントの開催により、世界の人たちとの交流をはかる。また、SDGsの達成に向けて、まずは社会意識が高く行動力もあるイノベーター層を万博に巻き込み、社会的インパクトの高い事例を数多く創出する。こうした活動を通じて万博への参画者や共感者を拡大することで更なる共創を生み、世界と繋がる国際博覧会を起爆剤とした国際交流の更なる進展をはかることを目的とした。
- ④公式参加予定国への本万博に対する理解の増進、結局的な参加の促進を目的とした。

### (2) 実施内容

- ①未来社会の実験場—People’s Living Lab—としての共創のためのイベント

<https://after2025.jp/>

大阪・関西のクリエイター・デザイナーにフォーカスしたコンテンツのフリーペーパーを製作し、関西を中心に文化施設・教育機関・TEAM EXPOの参画企業及び団体など約600か所へ配布した。



フリーペーパー

## ②地域経済界連携イベント事業

### ○大阪・関西万博「海のがっこうin四国水族館」

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20220218/>

子どもとその保護者を対象にしたオンラインスクールを開催。

四国水族館を教室に見立て、当協会、兵庫県神戸市、香川県宇多津町が海の万博をテーマに授業を行うとともに、神戸市、宇多津町、四国水族館、ナビゲーターの4者で「海と地球の未来」についてのトークセッションを行った。



配信の様子



配信の様子

### ○「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20220228/>

自治体向けオンラインシンポジウムを開催。

当日は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、サーフィン競技参加国を受け入れた5つの自治体が登場し、ホストタウン事業の成果や課題、「海」でつながる大阪・関西万博に向けて、自治体が連携して取り組めることについて議論を深めた。



左：シンポジウム会場 右：オンライン登壇者

## ③教育プログラム事業 (<https://www.expo2025.or.jp/overview/education/>)

学校教員向けの説明会を2回オンラインで実施するとともに、各参加校の授業計画に沿って随時実施。

7月7日から順次、学校と企業とのオンライン授業（アイデアミーティング）実施。  
中学生は2月に関西ユースミーティングでアイデアの発表を行い、小学生はアイ

ディアポスターを3月に当協会HPに公開。同時に阪神梅田店8階にポスターの現物を展示。また、参加児童生徒に対しポップアップメモを配布するとともにその他イベントの際にも配布することで本万博の周知拡大を図った。



ポスター展会場



授業風景



ポスター展



ポップアップメモ

#### ④各国・国際機関等の参加招請を目的とした国際イベント開催

本万博の公式参加予定国に向けてのタイプAパビリオン建築に関する概要説明会を開催した。

## 2 予想される事業実施効果

①製作・配布したフリーペーパーが今後も各地に使用され、人の目に留まることによって、本万博の機運が更に醸成されることが期待される。

### ②各地経済界連携イベント事業

#### ○大阪・関西万博「海のがっこう」

全国44都道府県から891組が視聴。イベント前は視聴者のうち約30%が大阪・関西万博が開催されることを知らなかったものの、イベント終了後のアンケートでは、大阪・関西万博への興味が高まったという回答が全視聴者の97%を占めた。万博が楽しみ、行ってみたいというようなコメントもあり、本イベントを通じて、本万博の認知を高めることができた。

実施後のアーカイブ配信（2022年3月31日まで）についても約8,300件のページビューがあり、同様の効果があったものとする。

日本には水族館が100施設以上あり、全国各地の水族館を起点に未来社会を生きる子どもたちと共に海について考える場を提供することで、会場を海に囲まれた本万

博の認知拡大と興味・関心の向上が見込まれる。同時に本万博への来場につながっていくものと予想される。

○「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」

終了後のアンケート調査の結果、本シンポジウムの理解度は90%以上を占め、多くの方に本万博の意義やテーマ、自治体の参加について、具体的な内容を伝えることができた。

今後の参画について前向きに検討する声が多く寄せられ、今回のようなシンポジウムの継続的な開催を望む声もあった。すぐに具体化するものではないが、今後の更なる情報発信や自治体同士の連携によって、本万博への参加促進や「海の万博」に対する関心を高めることができる可能性を残すことができた。

今回は、東京2020大会のサーフィン競技参加国のホストタウン事業を実施した自治体同士の連携を軸として開催したが、今後、別の海洋スポーツ競技を切り口として開催するなど、その他のホストタウン事業実施自治体への展開も可能であり、今回の単発のイベントで終わることなく、継続した本万博への参加促進に向けたムーブメントとなることが予想される。

- ③当プログラムを継続して実施していく学校が出てくることが見込まれ、その学校については万博及びSDGsへの興味関心を持つ児童・生徒が増加する。加えて、プログラム実施規模を拡大することで興味関心を持つ子どもが増え、更なる機運醸成を行うことができる。

広報ツールを包括的に企画・制作し展開することで、より高い告知効果が期待でき、本万博の開催周知やロゴマークの認知拡大を図るとともにより関心を引き起こし、万博開幕に向けての機運醸成や万博への更なる参画に繋がることを期待できる。また、制作したポップアップメモが今後も各地に使用され、人の目に留まることによって、本万博の機運が更に醸成されることが期待される。

- ④参加招請においてこれまでの活動を一段と加速、活性化する事が期待出来る。

既に参加表明した国は参加申請(パビリオンのグレード決定を含む)等、具体的な準備の為の促進に繋がり、未表明国は表明に向けての調整材料としての重要な情報になる。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

- ① フリーペーパー・Webサイト <https://after2025.jp/>
- ② 各地経済界連携イベント事業

○大阪・関西万博「海のがっこう」

・イベントチラシ 10,000部



[https://www.expo2025.or.jp/wp-content/uploads/220218\\_leaflet\\_online.pdf](https://www.expo2025.or.jp/wp-content/uploads/220218_leaflet_online.pdf)



○自治体向けオンラインシンポジウム「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」

- ・本編動画（2022年6月頃公開予定）

<https://www.youtube.com/channel/UCD6D10GaY8v60mh9HfzGZMQ>

- ・ダイジェスト版動画（2022年6月頃公開予定）

<https://www.youtube.com/channel/UCD6D10GaY8v60mh9HfzGZMQ>

- ・広報用チラシ（データ）

[https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/220228\\_leaflet\\_online.pdf](https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/220228_leaflet_online.pdf)



③教育プログラム教材（学習読本、教員用指導書）中学・小学校版

<https://www.expo2025.or.jp/overview/education/>

映像教材、実績報告書、ポップアップメモ 30,000部

④開催動画(アーカイブ用)

[The 1st Architectural Guidance for Type A Pavilions of EXPO 2025 - YouTube](#)

建築ガイダンス説明スライド・建設ガイダンス協会内報告書/参加国一覧

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

(ニセンニジュウゴネンニホンコクサイハクランカイキョウカイ)

住所： 〒559-0034

大阪市住之江区南港北1丁目14番16号

代表者： 代表理事 十倉 雅和 (トクラ マサカズ)

担当部署： ①企画局企画部企画事業課

(キカクキョクキカクブキカクジギョウカ)

②機運醸成局企画部共創推進課

(キウンジョウセイキョクキカクブキョウソウスイシンカ)

③機運醸成局地域・観光部地域連携課

(キウンジョウセイキョクチイキ・カンコウブチイキレンケイカ)

④国際局国際部企画課

(コクサイキョクコクサイブキカクカ)

担当者名： ①企画事業課 谷口 (タニグチ)

②共創推進課 高坂 (コウサカ)

③地域連携課 岡崎・武川 (オカザキ・タケガワ)

④企画課 加藤 (カトウ)

電話番号： 06-6625-8651

F A X： 06-6625-8663

E-mail： [info@expo2025.or.jp](mailto:info@expo2025.or.jp)

U R L： <https://www.expo2025.or.jp/>